

2023 年度
マンスリーレポート No. 106

1月4日、卒業試験の再試験が行われ(17人が受験)、安達と山田が監督を担当した。

1月5日、安達が大学院ニュースレター原稿「師の教え」を提出した。片山が寺部助教(消化器内科)・研究推進戦略センターと特許出願内容について打合せを行った。

1月9日、教務委員会が開催され、来年度の授業では、コロナ対策の50分時間差(食堂の混雑解消)は継続、2教室分散(学生の密集/密接回避)は変更(1学年1教室)となった。山田が認定標準模擬患者のための標準化作業(①シナリオ理解)を行った。

1月10日、教授会議の卒業判定で教務委員会案(再試17人中7人が合格)が承認され、卒業生107人に国試合格率 $\geq 95\%$ (私大新卒平均)を期待する(教務委員長)ことになった。

1月11日、片山が吉井副看護部長と看護師研修会の学習内容について打合せを行った。

1月13日(土)~14日(日)、教職員向けメンタルコーチ養成講習会(EMACS)の実習が開催され、柏木と山田が参加した(筑水会館)。

1月15日、今年度の6年卒業率(留年せずに卒業する学生の割合)が判明し、最近5年間の推移を含めて、教育評価委員会(野村/深水/安達)で情報を共有して意見交換を行った。山田が認定標準模擬患者のための標準化作業(②演技の標準化 ③評価の標準化)を行った。

1月18日、片山が杉島主任看護師と看護師研修会の学習内容について打合せを行った。

1月18日~19日、山田が第87回医学教育セミナーとワークショップ「マギル大学のWhole Person Care教育に触れてみよう!」「キャリアデザインシミュレーションを体験してみませんか!」に参加した(Web)。

1月19日、山田が九州整形外科運動器疼痛懇話会で当番世話人として特別講演の座長を務めた。片山の発明に関する国際特許出願が学内委員会で承認された。

1月20日(土)、山田が久留米大学病院指導医講習会のチーフタスクフォースを務めた。

1月22日、教育評価委員会の今年度の活動と来年度の計画についてメール会議を行い、来年度の教育評価委員会の構成とメンバーを刷新する依頼文書を医学部長に提出した。

1月25日、片山と企業の共同発明に関する国内特許出願が学内委員会で承認された。

1月26日、山田が「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業:成果報告シンポジウム」(文科省)に参加した(Web)。

1月27日、片山が第18回九州医用画像コミュニティで特別講演の司会を務めた(Web)。

1月31日、柏木がHondana(電子シラバス)のバックアップ装置を入れ替えた。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターの利用状況 下線は土日祝日

- ・臨床実習(医学科4年/5年):ロボット手術シミュレータ体験(呼吸器外科) 1/9・1/23・1/30
- ・臨床実習(医学科4年/5年):ロボット手術シミュレータ体験(消化器外科) 1/16・1/23・1/30
- ・臨床実習(医学科4年/5年):外科縫合トレーニング(呼吸器外科) 1/4・1/18
- ・臨床実習(医学科4年/5年):シナリオシミュレーション演習(整形外科) 1/5・1/17・1/31
- ・臨床実習(医学科4年/5年):XR解剖観察学習(トレセン) 1/5
- ・臨床実習(医学科4年/5年):VR上部消化管内視鏡体験(消化器内科) 1/12・1/17

- ・臨床実習(医学科4年/5年):超音波検査(シミュレータ)体験(消化器内科) 1/22
- ・CVカテ挿入トレーニング(救命医師) 1/12
- ・気管挿管トレーニング(SICU医師) 1/17・1/31
- ・CVカテ挿入トレーニング(SICU医師) 1/17・1/31
- ・VR消化管内視鏡(上部)トレーニング(研修医) 1/26・1/30
- ・超音波検査(シミュレータ)トレーニング(研修医) 1/26・1/30
- ・腰椎穿刺(シミュレータ)トレーニング(神経内科医師) 1/26
- ・ロボット手術シミュレータ・トレーニング(消化器外科) 1/10・1/30・1/31
- ・ロボット手術シミュレータ・トレーニング(肝胆膵外科) 1/19・1/22
- ・Dry Box縫合トレーニング(研修医) 1/26・1/30
- ・BLS演習(病棟看護師) 1/22
- ・救命救急処置技術研修(病棟看護師) 1/15・1/22・1/29

文責：安達洋祐